

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和7年5月22日	
東京都知事 殿	
提出者	
住 所 東京都新宿区西新宿6-16-6	
氏 名 大日本土木株式会社 東日本支店	
執行役員 東日本支店長 羽田野 真希雄 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 03-532 6-3811	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	大日本土木株式会社 東日本支店
事業場の所在地	東京都新宿区西新宿6-16-6
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業
②事業の規模	エリア内元請完成工事高 23,435百万円
③従業員数	204名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別添2 管理体制図のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度(令和6年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
	排出量	1,609.41 t	33.15 t
	(これまでに実施した取組) 作業所毎に「環境保全計画」に基づき建設副産物の分別率目標値を設定。分別率向上を図るとともに、「再生資源利用(促進)計画」の実施より建設副産物の発生抑制・削減と適正処理に関する活動を実施。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
	排出量	1,448.47 t	29.84 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も作業所毎に「環境保全計画」に基づき副産物の分別率目標値を設定。分別率向上を図るとともに、「再生資源利用(促進)計画」の実施より建設副産物の発生抑制・削減と適正処理に関する活動を実施予定。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 毎年度「環境保全計画」に基づき建設副産物の分別率目標値を設定。分別率向上を図るとともに、「再生資源利用(促進)計画」の実施より建設副産物の発生抑制・削減と適正処理に関する活動を実施。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 毎年度「環境保全計画」に基づき建設副産物の分別率目標値を設定。分別率向上を図るとともに、「再生資源利用(促進)計画」の実施より建設副産物の発生抑制・削減と適正処理に関する活動を実施。		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和6 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
排 出 量	169.28 t	85.90 t	279.30 t	9,695.63 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
排 出 量	152.35 t	77.31 t	251.37 t	8,726.07 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和6 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
排 出 量	644.31 t	8,002.89 t	306.24 t	42.75 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
排 出 量	579.88 t	7,202.60 t	275.62 t	38.48 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和6 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	-
排 出 量	361.45 t	224.42 t	215.00 t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	-
排 出 量	325.31 t	201.98 t	193.50 t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 実施していない。		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
(今後実施する予定の取組) 実施していない。			

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	-
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	-
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	-
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	-
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) 実施していない。		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
	全処理委託量	1,609.41 t	33.15 t
	優良認定処理業者への処理委託量	- t	30.80 t
	再生利用業者への処理委託量	1,609.41 t	33.15 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 作業所毎に「環境保全計画」に基づき建設副産物の分別率目標値を設定。分別率向上を図るとともに、「再生資源利用(促進)計画」の実施より建設副産物の発生抑制・削減と適正処理に関する活動を実施。		

## (第4面) - 2

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

## 【前年度(令和6年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## 【前年度(令和6年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
全処理委託量	169.28 t	85.90 t	279.30 t	9,695.63 t
優良認定処理業者への処理委託量	161.58 t	83.07 t	151.20 t	698.49 t
再生利用業者への処理委託量	169.28 t	85.90 t	279.30 t	9,485.77 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

## 【前年度(令和6年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## 【前年度(令和6年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
全処理委託量	644.31 t	8,002.89 t	306.24 t	42.75 t
優良認定処理業者への処理委託量	4.14 t	97.39 t	214.45 t	42.75 t
再生利用業者への処理委託量	644.31 t	7,995.49 t	- t	42.75 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

## (第4面) - 4

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	-
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	-
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

## 【前年度（令和6年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	-
全処理委託量	361.45 t	224.42 t	215.00 t	- t
優良認定処理業者への処理委託量	168.95 t	177.36 t	215.00 t	- t
再生利用業者への処理委託量	361.45 t	224.42 t	215.00 t	- t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
	全処理委託量	1,448.47 t	29.84 t
	優良認定処理業者への処理委託量	- t	27.72 t
	再生利用業者への処理委託量	1,448.47 t	29.84 t
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>今後も作業所毎に「環境保全計画」に基づき建設副産物の分別率目標値を設定。分別率向上を図るとともに、「再生資源利用(促進)計画」の実施より建設副産物の発生抑制・削減と適正処理に関する活動を実施予定。</p> <p>また、可能な限り再生利用業者での処理委託を行い、最終処分量の低減を図る。</p>			
※事務処理欄			

【目標】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
全処理委託量	152.35 t	77.31 t	251.37 t	8,726.07 t
優良認定処理業者への処理委託量	145.42 t	74.76 t	136.08 t	628.64 t
再生利用業者への処理委託量	152.35 t	77.31 t	251.37 t	8,537.19 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

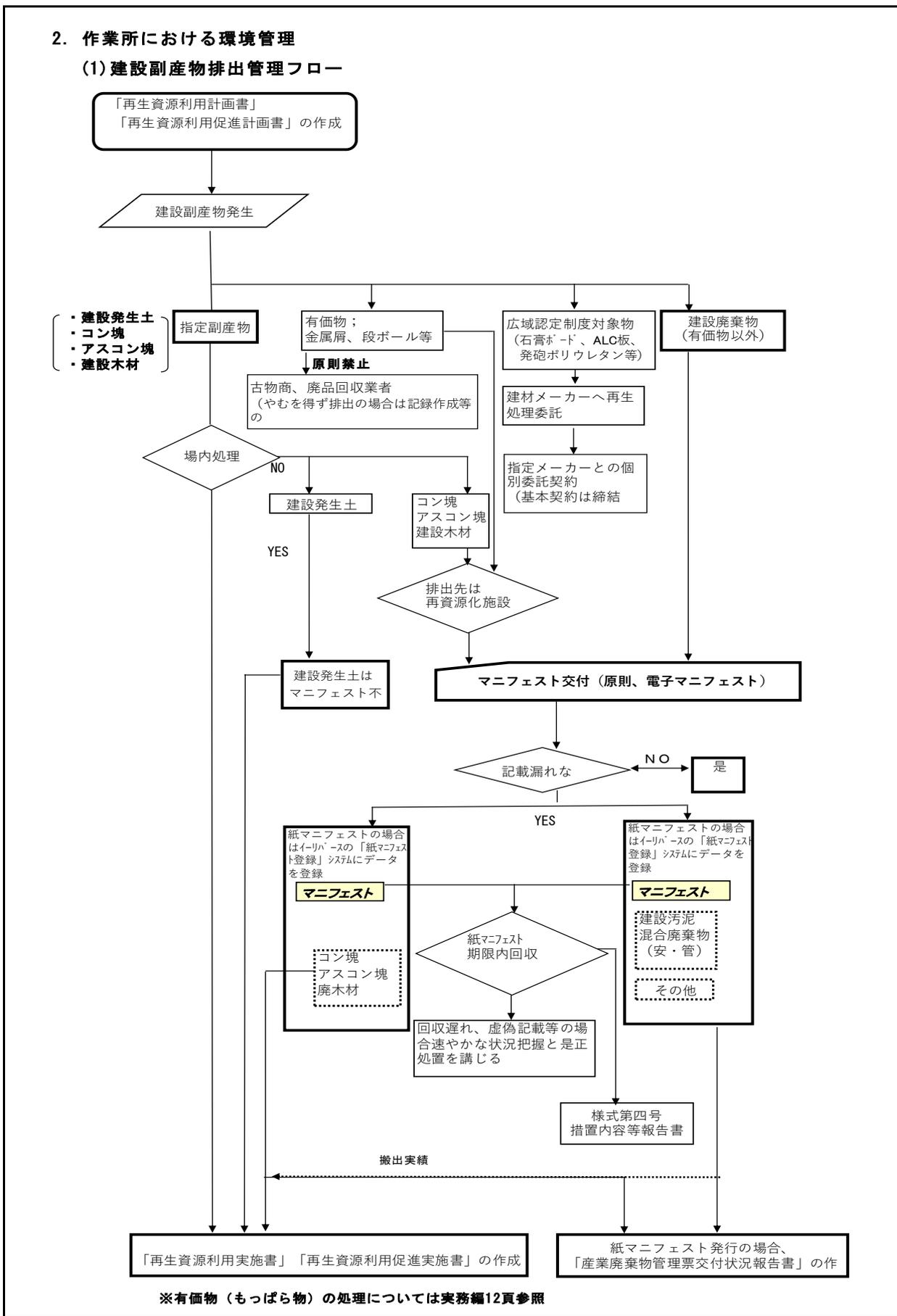
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
全処理委託量	579.88 t	7,202.60 t	275.62 t	38.48 t
優良認定処理業者への処理委託量	3.73 t	87.65 t	193.01 t	38.48 t
再生利用業者への処理委託量	579.88 t	7,195.94 t	- t	38.48 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

【目標】				
産業廃棄物の種類	木くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	-
全処理委託量	325.31 t	201.98 t	193.50 t	- t
優良認定処理業者への処理委託量	152.06 t	159.62 t	193.50 t	- t
再生利用業者への処理委託量	325.31 t	201.98 t	193.50 t	- t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	- t	- t	- t	- t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

# 別添 1 処理工程図



# 別添 1 主な処理工程

がれき類	破碎	再利用・埋立
ガラス・陶磁器くず	破碎	再利用・埋立
廃プラスチック	破碎・圧縮・溶解	再利用・埋立・材料
金属くず	破碎	再利用
紙くず	破碎・圧縮・焼却・溶解	再利用・燃料
木くず	破碎・圧縮・焼却	再利用・燃料
繊維くず	破碎・焼却	再利用・埋立
廃石膏ボード	破碎・選別	再利用・埋立
建設汚泥	脱水・天日乾燥・固形化	再利用・埋立
廃油	油分分離	再利用・燃料
混廃(安定)	破碎・圧縮・選別	再利用・埋立
混合(管理)	破碎・圧縮	再利用・埋立
石綿含有廃棄物(安定型)		溶融・埋立・無害化
水銀使用製品廃棄物		破碎・不溶化・埋立
廃アルカリ	焼却	埋立(管理型)

# 別添 2 管理体制図

## 1. 全社的な環境管理

